

文献記号/番号		分野	津波	種別	共通	
著者名	Daisuke Sugawara ¹⁾ , Fumihiko Imamura ¹⁾ , Hideaki Matsumoto ¹⁾ , Kazuhisa Goto ¹⁾ , Koji ¹⁾ Tohoku University					
表題	Sediment sidtribution and inundation area by the AD 869 Jogan tsunami in Sendai Plain, Northeast Japan. (poster session)					
文献誌名	3rd. International Tsunami Field Symposium	発行年	2010.4	巻	号	頁
キーワード	869年貞観津波、津波堆積物					
新知見情報						

要約

- ・仙台平野で津波堆積物調査を実施。
 - ・ボーリングコア観察においては、津波堆積物の有無だけでなく、津波堆積物の下の地層が侵食されているかどうかを観察。
 - ・侵食されている場合は、津波遡上により、土質の限界せん断力を超えたと判断できることから、そのことを考慮して津波遡上域を推定し、3ケースの数値計算を実施。
 - ・200km×85kmのモデルを、仙台平野沖の①岸寄り、②中間、③海溝寄りの3つの位置において計算した結果、②が最も堆積物分布を説明できることが分かった。
- (補足)②のモデル位置は、産総研のモデル10より約50km北方。